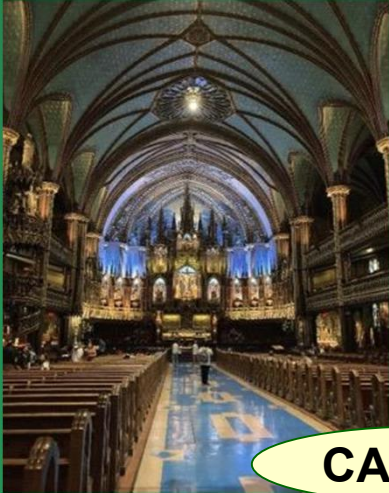


STUDY ABROAD GUIDEBOOK 2023

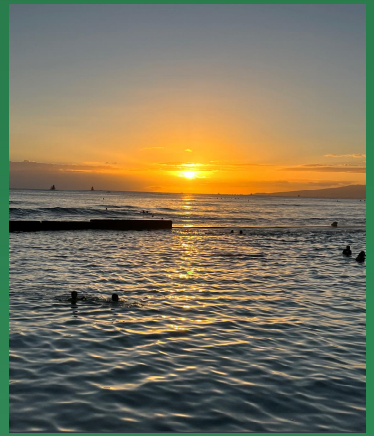


CANADA



USA

**Department of English
Meikai University**



USA



STUDY ABROAD GUIDEBOOK

目次

Contents

1. 海外留学	Studying Abroad	2
2. 異文化理解	Intercultural Communication	2
3. 明海大学の留学制度	Meikai University Study Abroad Programs	5
4. 明海大学の提携先大学	Affiliated Overseas Universities	6
5. 奨学金制度について	Scholarships	10
6. 留学のための選抜試験	Selection Procedures	10
7. TOEFL iBT テスト	TOEFL iBT Test	11
8. 留学年間スケジュール	Schedule	12
9. 英語で自己紹介	Self-Introduction Speech	16
10. 留学の英語重要表現	Useful Expressions	17
11. 留学体験者の報告	Reports from Students	18
12. おわりに	Endnotes	31



1. 海外留学 Studying Abroad

明海大学には素晴らしい留学サポートシステムがあります。英米語学科では特に英語圏の国である英国、米国、カナダ、オーストラリアの大学と提携を結んでおり、それらの国の大学で、じっくり腰を据えて英語を勉強することができます。異文化の中で多様な生活様式に触れ、様々な意見を持つ人たちと知り合うこともできるでしょう。そのような経験をすることで視野が広がり、グローバルな感覚が身につきます。英語でコミュニケーションをする楽しさを通して、英語力も自然に向上します。

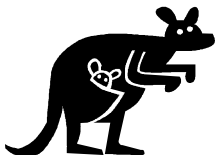
この冊子は、明海大学英米語学科がサポートしている留学のシステムについて、留学する場合には何が必要か、提携先の大学はどんな大学か、留学することになったらどんなことを知っておく必要があるか、などについてわかりやすくまとめたものです。英語による直接的な説明(これは将来留学したときにも役立ちます)、豊富な留学先の写真や留学体験者の手記も載っていますので、ぜひじっくり読んで、留学の可能性を考える一助として下さい。この冊子を読んで、一人でも多くの学生が留学に関心を持ち、留学にチャレンジしてくれることを願っています。

2. 異文化理解 Intercultural Communication

異文化コミュニケーション実りある留学・研修のために

留学や研修では、異なる文化を持つ人々と日常的に交流する機会を持ちます。異なる文化(異文化)という言い方をよく耳にしますが、そもそも「文化」とは何なのでしょう。ここでは、わかりやすくするために、文化を3つに分けて考えます。文化には、衣服、食べ物、建物などを含む物理的なもの(物質文化)、わたしたちの価値観、考え方(精神文化)、そして行動の仕方、感情の出し方(行動文化)があります。

皆さんが留学・研修を行う英語圏と日本の「物質文化」を比べてみましょう。英語圏、日本のどちらにも、高層ビルが建つ都会もあれば、農村や漁村もあります。物質文化の上では、似たところがたくさんあるようです。もちろん、違いもあります。例えば、オーストラリアのレストランでは「カンガルーバーガー」が出てきたり、アメリカ・フロリダのレストランでは「アリゲーターステーキ」がメニューにあたりします。



次に、「精神文化」です。英語圏における価値観、考え方で重要なのは、英米語学科でも学んできたように、自分の意見をしっかりと持っており、それを表現

することです。英語圏では、個人の自立と主体性を尊重する個人主義的な価値観が根付いており、自分の意見を表現しない人は、個人として認められにくく、大学の教室では、「意見を言わない人＝意見がない人」だと周りから判断される傾向にあります。逆に、しっかりと自分の意見を述べ、「意見、理由、具体例」というセットで話をする人は歓迎されます。なぜなら、そういう人が評価される文化だからです。



日本での状況はどうでしょう。残念ながら、積極的に意見を述べようとする人は多くありません。周りの様子を見ながら、自分が述べる意見が周りからどう思われるかを心配して、なかなか発言しない人が多いようです。皆さんの留学・研修を充実させるためには、英語圏の大学で大切にされている文化を理解し、間違ってもいいので、積極的に自分の意見を述べていく必要があります。

英語圏の大学では、授業中に「あなたはどう思いますか」と問われる機会がとて多いので、日頃から様々な物事について自分なりの意見を持つておくことが大切になります。また、自分の国の現状、歴史、政治、文化などについても説明を求められることがあります。自分の国、通っている大学などについて説明できるように練習しておきましょう。会食の席などでも積極的に自文化について語っていきましょう。周りの人は、自文化について説明するあなたを見て、きっと興味を持ってくれるはずですよ。

では、「行動文化」について考えてみましょう。言葉やジェスチャーの使い方は、英語圏と日本とは、かなり違いがあります。英語圏は、low-context culture と言って、言葉(言語)や身振り・手振り(非言語)を用いて、できるだけわかりやすく説明し、相手に自分の意図を伝えようとする文化です。ジェスチャーは大きく、表情も豊かで、言葉とジェスチャーをフル活用して、自分の意思を伝えます。

一方、日本は、high-context culture と言って、言葉ではあまり説明せず、状況のなかで相手に意図をわかってもらおうとする文化です。相手に察してもらおうという文化ですから、ジェスチャーも少なめで、表情は英語圏と比べて豊かとは言えません。もちろん、互いの立場を察しあい、微妙なニュアンスを読み取る日本の文化は素晴らしいですが、英語圏の文化と自文化の関係を考え、普段より言葉、ジェスチャーを多くし、表情を豊かにすることでコミュニケーションを取っていくこともできます。

ジェスチャーの話をしました。相手との距離も大切です。アメリカ人の多くは、会話をするとき、相手との距離を日本人より短く取ります。ですから、アメリカ人と会話する日本人のなかには、アメリカ人が「近すぎる」という印象を持つ人もいます。この「近い」距離は、アメリカ人からすると「あたりまえ」です。逆に、日本人にとっての「あたりまえ」の距離は、アメリカ人にとっては「遠い」距離になります。では、日本人の「あたりまえ」の距離でアメリカ

人と話をすると、アメリカ人はどう感じるでしょうか。日本人が「遠く」に立っていますので、アメリカ人は「相手は自分を良く思っていないのではないか」などと考えるかもしれません。もちろん、相手の距離に無理に合わせる必要はありませんが、自文化中心主義的な理解ではなく、違いを楽しんだり、違いの理由を相手に説明したりすることができれば、お互いに理解を深め、文化間の相互理解が進んでいくでしょう。

さて、異文化コミュニケーションにおける「文化」は、国の文化だけではなく、民族、地域、社会階級、性別、世代、組織などによっても文化が異なることがあります。ですから、一人の人間は、いろんな文化を同時に生きていると言えます。「アメリカ人」といった国の枠組みだけでは、人々が生きる多様な文化を理解することはできません。また、グループ単位で人の文化を理解することに加え、個人の独自性を受け止めることも大切です。このような柔軟な姿勢が、ありのままをできるだけ受け入れようとする多様性の尊重につながります。多様な他者と出会うことで、あなたの考え方はより幅広く、そして柔軟になることでしょう。

留学、研修を充実させるために心がけるべきことは、「あー、こんな考え方、こんな行動の仕方もあるんだな。なるほど。」といった(1)「違いを冷静に見る力」もしくは「違いを楽しむ気持ち」、(2)「自分の考え、感情を周りに表現し、関わっていく積極性」、そして、(3)「間違いを恐れられない行動力」です。皆さんの健闘を祈ります。

☆異文化コミュニケーションについて知るための参考図書☆

池田理知子(編著)(2010)『よくわかる異文化コミュニケーション』ミネルヴァ書房。

久米昭元・長谷川典子(2007)『ケースで学ぶ異文化コミュニケーション』有斐閣。

鍋倉健悦(1997)『異文化間コミュニケーション入門』丸善株式会社。



3. 明海大学の留学制度

Meikai University Study Abroad Programs

明海大学英米語学科には、大きく分けて、2つの留学制度があります。約9ヶ月の長期留学を行う「海外留学」と呼ばれる留学制度と、夏あるいは春休みの時期に3週間から4週間海外の大学で集中英語研修を受ける「海外研修」と呼ばれる制度です。

長期留学を行う「海外留学」は、協定校留学で、本学と学術交流協定を締結している海外の大学に留学生を派遣する制度です。2023年度は、カナダとオーストラリアへの留学が予定されています。この制度で留学する場合は、学費は本学と留学先大学の双方に納入します。その他留学に係る諸経費も留学生の自己負担となりますが、本学には留学をサポートする派遣留学生奨学金制度があり、経済的支援の道が用意されています。また、留学先で修得した単位は40単位を超えない範囲で認定されます。

一方、短期の英語研修（「海外研修」）には2つのタイプがあります。1つは海外研修派遣学生が参加費用を自己負担する研修ですが、実際は大学から海外研修奨学金、教育後援会から研修援助金が給付されるため、全額が自己負担となっているわけではありません。もう1つは奨学海外研修と呼ばれるもので、成績優秀者を対象に実施されます。この場合は、渡航費、研修費、滞在費の全額が大学負担となります。通常これらの研修も単位認定対象となります。

以上のように、明海大学外国語学部英米語学科では様々な形で海外の大学で学ぶことができるプログラムが用意されていますので、皆さんも大学4年間の間にぜひ海外留学、研修を体験して下さい。



4. 英米語学科の海外提携先大学

Affiliated Overseas Universities

以下に明海大学英米語学科が提携あるいは学生を派遣している大学について、英文で説明します。説明のあとの質問も考えてみて下さい。正解は説明文の中に見つからなければ、インターネットで調べてみましょう。

University of Alberta (U of A), Canada

The University of Alberta (U of A) was established as a public research university in 1908 by Alexander Cameron Rutherford, the first premier of Alberta, and Henry Marshall Tory, the U of A's first president. It is based in the city of Edmonton, the provincial capital of the western province of Alberta, one of Canada's most diverse and dynamic economies. The U of A also has the distinction of being one of the world's most northern research universities. It is considered to be a talent magnet attracting some of the world's best students and researchers and strives to be one of the world's great universities for the public good.

1. When was the University of Alberta founded?
2. In what city is the University of Alberta located?
3. What is the student body population of the University of Alberta?
4. What are the nickname, mascot, color/colors and motto of the U of A?
5. Can you list the names of three big cities in Canada?
What is the capital?
6. Who is the current Prime Minister of Canada?
7. Can you list the names of some famous people in Canada (e.g., musicians, actors, athletes)?



University of Hawai'i at Manoa (UH), USA

The University of Hawai'i at Manoa is the flagship campus of the University of Hawaii system, located in Honolulu, on the island of Oahu. The University of Hawai'i at Manoa was founded in 1907 and now offers over 200 degree programs across 17 colleges and schools such as the School of Hawaiian Knowledge, the School of Ocean and Earth Science and Technology, and the School of Pacific and Asian Studies. The motto of the UH is "*Maluna a'e o na lahui a pau ke ola o ke kanaka*" ("Above all nations is humanity"), which is reflected in the fact that it is one of the most diverse universities in the United States, ensuring a multicultural experience for all.

1. When was the University of Hawai'i at Manoa (UH) founded?
2. In what part of Hawai'i is UH located?
3. What is the student body population of UH?
4. What are the nickname, mascot, colors and motto of UH?
5. Can you name three Hawaiian islands?
6. From what countries did immigrants come to Hawai'i?
7. Can you list the names of some famous people from Hawai'i (e.g., musicians, actors, athletes)?



Central Queensland University (CQUniversity), Australia

The Queensland Institute of Technology was established in 1967 and attained full university status in 1992 as the University of Central Queensland. In 2008, the University changed its name to CQUniversity Australia. CQUniversity operates from six locations in Central Queensland with campuses in Rockhampton, Gladstone, Mackay, and Bundaberg, as well as learning facilities in Emerald and Noosa. As one of the most engaged, supportive and responsive institutions of higher learning in Australia, CQUniversity focuses on its mission of providing quality teaching and learning by taking a leadership role in enhancing professional development, curriculum and teaching support and being engaged with industry and the community.

1. When was CQUniversity founded?
2. In what city is CQUniversity located?
3. What is the student body population of CQUniversity?
4. What are the nickname, mascot, color/colors and motto of CQUniversity?
5. Can you list the names of three big cities in Australia? What is the capital?
6. Who are the original indigenous people of Australia?
7. Can you list the names of some famous people in Australia (e.g., musicians, actors, athletes)?



Canterbury Christ Church University, Great Britain

Canterbury Christ Church College was established as a teacher training college by the Church of England in 1962 in order to meet a growing demand for highly trained educators. Officially granted full university status in July 2005, Canterbury Christ Church University offers over a thousand academic and professional study programs at the undergraduate and postgraduate level. Based in the historic city of Canterbury in the southeast of England, Canterbury Christ Church University is renowned for its academic excellence, inspiring locations, strong community and civic spirit and very welcoming and engaging atmosphere.

1. When was Canterbury Christ Church University founded?
2. In what city/county is Canterbury Christ Church University located?
3. What is the student body population of the university?
4. What are the nickname, mascot, color/colors and motto of the university?
5. Can you name the parts of the United Kingdom?
6. Do you know any British English words and their American counterparts?
7. Can you list the names of some famous people in the United Kingdom (e.g., musicians, actors, athletes)?



5. 奨学金制度について Scholarships

海外留学、海外研修の助成金として各種の奨学金が用意されています。詳しくは、新学期に配布される、CAMPUS GUIDE を参照して下さい。

6. 留学のための選抜試験 Selection Procedures

各学部、学科で留学のための選抜試験が異なります。英米語学科の選抜方法は以下です。

派遣留学(海外留学)

アルバータ大学留学、シーキューユニバーシティ留学

- ・英文エッセイ試験
- ・面接試験(日本語・英語)
- ・志望動機
- ・学内成績
- ・出願に必要とされる TOEFLiBT スコア (シーキューユニバーシティ: iBT79; アルバータ大学: iBT45)

(※シーキューユニバーシティ留学の 2023 年募集(2024 年度派遣)は行いません。)

奨学海外研修

ハワイ大学(マノア校)奨学研修

学業成績(GPA)、英検 IBA の成績、面接等により総合的に審査をし、新 2, 3 年生 5 名ずつ選抜。

派遣留学(海外研修)

カンタベリークライストチャーチ大学研修、シーキューユニバーシティ研修

- ・面接試験(日本語・英語)
- ・志望動機
- ・学内成績
- ・その他英語試験結果等

※出願資格: GPA2.0 以上

- 単位数: 1 年前期 15 単位・後期 30 単位
- 2 年前期 45 単位・後期 60 単位
- 3 年前期 75 単位・後期 90 単位

7. TOEFL iBT Test

TOEFL テストとは

TOEFL テスト (Test of English as a Foreign Language) は、1964 年に英語を母国語としない人々の英語コミュニケーション能力を測るテストとして、米国非営利教育団体である Educational Testing Service (ETS) により開発されました。大学のキャンパスや教室といった 実生活でのコミュニケーションに必要な、「読む」「聞く」「話す」「書く」の 4 つの技能を総合的に測定します。

TOEFL iBT について

日本では、TOEFL iBT (インターネット版 TOEFL テスト) が実施されています。テストセンターもしくは自宅受験することが可能です。また、一年に何度でも受験することが可能です。

国際基準 グローバルスタンダードとしての TOEFL テスト

TOEFL テストは世界中の英語検定テストの中で、最も幅広い国々で受け入れられているテストです。アメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、カナダのほぼ全ての大学をはじめとした 160 カ国 11,500 以上の機関が、TOEFL テストスコアを英語能力の証明、入学や推薦入学、奨学金、卒業の基準として利用しています。世界中で毎年 100 万人以上、TOEFL テスト開始からこれまでに約 3,500 万人以上が受験しています。

TOEFL テストは英語をどれだけ「知っている」か、ではなく、「使える」かに焦点をあて、より実生活に即したコミュニケーション能力を測定するテストで、「読む」「聞く」「話す」「書く」の 4 セクションで構成されています。テストセンターでは 1 人 1 台割り当てられたコンピュータ上で受験します。テスト所要時間は 3-3.5 時間で、全セクションでメモをとること (Note-taking) が可能です。Speaking セクションでは、マイクに向かって話し、音声録音されます。

セクション	制限時間	問題	課題
Reading	54-72 分	30-40 問	文章を読んで質問に答える
Listening	41-57 分	28-39 問	簡単な講義や教室での議論に関する質問に答える
Speaking	17 分	4 課題	身近な話題について話し、読んだり聞いたりした資料について話し合う
Writing	50 分	2 課題	文章を読み、音声を聞いて、それに対する回答を入力する

受験については公式ホームページ < <https://www.ets.org/jp/toefl/test-takers> > を参考にしてください。

8. 留学年間スケジュール Schedule

① 奨学海外研修(2-3年生の成績上位者計 10 名対象) のスケジュール

時期	スケジュール
	ハワイ大学奨学研修 (アメリカ)
3 月下旬	派遣候補者(成績優秀者)へ大学から通知を郵送
4 月上旬	派遣候補者の面接
5 月上旬	合格発表
5 月中旬	第 1 回オリエンテーション ・研修参加の注意事項 ・アプリケーションの記入について ・事前事後学習について等
5 月下旬	第 2 回オリエンテーション ・誓約書の提出について ・海外旅行総合保険加入について
6 月中旬	第 3 回オリエンテーション ・持ち物・お金の管理について
7 月下旬	第 4 回オリエンテーション ・研修スケジュールについて ・安全管理・保険の取扱いについて ・その他連絡事項等
8 月中旬	最終回オリエンテーション ・単位認定申請について ・研修報告書の提出について ・緊急連絡先について ・出発案内等
8 月下旬	出発
9 月下旬	研修報告会

※派遣の詳細(派遣先や派遣期間等)については変更されることがあります。

② 派遣留学(海外研修)(3～4週間の英語集中研修:自費+奨学金)

時期	スケジュール
	カンタベリークライストチャーチ大学研修 (イギリス)
4月上旬	募集説明会
5月中旬	出願締切
5月中旬	選抜試験[面接(日本語・英語)]
6月上旬	合格発表
6月中旬	第1回オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・研修参加の注意事項 ・アプリケーションの記入について ・参加費用の案内 ・事前事後学習について等
6月下旬	第2回オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行総合保険の加入および誓約書の提出について ・その他連絡事項等
7月上旬	第3回オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・奨学金申請、持ち物・お金の管理について等
7月中旬	第4回オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理・保険の取扱いについて ・寮について
8月上旬	最終回オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・単位認定申請について ・研修報告書の提出について ・研修スケジュールについて ・緊急連絡先について 出発案内等
8月下旬	出発
9月下旬	研修報告会

時 期	スケジュール
	シーキューユニバーシティ研修（オーストラリア）
9月下旬	募集説明会
11月上旬	出願締切
11月中旬	選抜試験[面接(日本語・英語)]
11月中旬	合格発表
12月上旬	第1回オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・研修参加の注意事項 ・研修日程について ・参加費用の案内 ・事前事後学習について
12月中旬	第2回オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行総合保険の加入について ・誓約書の提出・奨学金申請について ・お金・荷物の管理について等
1月中旬	第3回オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・ホームステイについて
2月上旬	最終回オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・単位認定申請について ・研修報告書の提出について ・緊急連絡先について ・出発案内等
2月中旬	出発
4月下旬	研修報告会

③ 派遣留学(長期/9カ月留学) 出発までのスケジュール

時 期	スケジュール
	シーキューユニバーシティ(オーストラリア)協定校留学
5月中旬	派遣留学(海外留学)募集説明会
7月中旬	出願締切
7月下旬	選抜試験[英文エッセイ・面接(日本語・英語)]
10月上旬	合格発表
10月上旬-11月上旬	入学手続き等
11月中旬-下旬	学生ビザ申請
12月上旬	第1回父母説明会
12月上旬	帰国後の単位認定申請及び就職活動に関する説明会
12月中旬	航空券・海外旅行保険の購入
1月下旬	第2回父母説明会・合同壮行会
2月中旬	出発

④ 派遣留学(長期/9カ月留学) 出発までのスケジュール

時 期	スケジュール
	アルバータ大学(カナダ)協定校留学
5月中旬	派遣留学(海外留学)募集説明会
9月下旬	出願締切
10月上旬	選抜試験
11月上旬	合格発表
11月上旬-1月上旬	入学手続き等
12月上旬	第1回父母説明会
12月上旬	帰国後の単位認定申請及び就職活動に関する説明会
1月中旬-2月上旬	学生ビザ申請
1月下旬	第2回父母説明会・合同壮行会
2月中旬	航空券・海外旅行総合保険の購入
4月下旬	出発

9. 英語で自己紹介 Self-Introduction Speech

Advice for Making a Self-Introduction Speech

STEP 1: Please visit the following websites and learn useful ideas for drafting, practicing and delivering your self-introduction to different audiences.

- ◇ <http://www.speech-topics-help.com/self-introduction-speech.html>
- ◇ <http://www.write-out-loud.com/self-introduction-speech.html>

STEP 2: Prepare yourself for writing either type of speech above by answering these questions in English.

1. What is your full name? What nicknames do you have?
2. Which country are you from? How long will you be staying abroad and why did you decide to study here?
3. Why did you enter Meikai University? What is your major?
4. What are some things that make you special?
5. What kind of part-time job(s) do you have now or have had before? What did you learn from these jobs?
6. What do you like to do in your free time? Hobbies? Interests?
7. What are some of your future plans and goals after graduation?
8. What do you think you will learn from this overseas study experience?

STEP 3: Draft, revise and practice your speech using the answers to your Step 2 questions & the outline below, modifying it as necessary.

Introduction: Greet everyone warmly & if appropriate, show excitement. State your first name clearly then your full name & nickname, your city & country, name of your university, your year in school & major.

Body: Depending upon how much time you have to speak, present one or more interests, passions, or goals and what you hope to accomplish.

Conclusion: Summarize your self-introduction in a memorable way by using a quote, word picture, short story or joke, etc., that describes you well.

Adapted from: <http://kkitao.e-learning-server.com/class/present/self07.pdf>

10. 留学の英語重要表現 Useful Expressions

General Info

My name is _____.

I don't understand.

Please speak slowly. Or Pardon?

What (time, date, day) is it?

Where is the nearest / closest _____ (convenience store, gas station, internet café, restroom, shopping center, telephone booth)?

Can you give me directions to _____?

Where can I find information about _____?

Food & Water

Where is the nearest / closest (super)market / store?

Where can I get something to eat / drink?

I am allergic to _____ Or I can't eat / drink _____

Medical

I'm not feeling well. Or I feel really bad / sick.

How can / do I get to the nearest hospital / doctor?

I'm allergic to penicillin / aspirin. etc. I have _____ (diabetes, epilepsy, etc.).

My blood type is _____.

Money

Do you take credit cards?

What is the exchange rate for yen into _____ (Australian/Canadian/US \$, pounds, etc.)?

How much does this cost?

Where is the nearest / closest ATM / bank?

Transportation

How long will the trip take?

Are there student rates? How much is the ticket?

Where can I get a (bus, taxi, metro / subway train)?

Can you take me to the nearest _____ (bus stop, taxi stand, metro/subway train station)?

Please take me to the airport.

What is the fare? Or How much will it cost?

Does this bus / train stop at _____ (place or station name)?

Emergencies

This is an emergency.

Where can I get help? Or I need help.

Please help me! Or HELP!

Where is the nearest police / fire station?

Call the police / fire department immediately.

Adapted from: <http://www.pcc.edu/about/international/study-abroad/documents/phrases-to-know.pdf>

11. 留学体験者の報告 Reports from Students

カナダ (Alberta 大学) 2022. 4-2022. 12

Keita Yamanishi

山西 啓太

アルバータ大学での8か月間の留学

私は、IVSP (International Visiting Student Program) と呼ばれるプログラムで、カナダのアルバータ大学に4月の下旬から12月の下旬まで8か月の長期留学をしました。前半の4か月間は「EAP コース」という英語集中講座で学び、後半の4か月間は、アルバータ大学の正規科目で興味あるものを選んで本キャンパスで受講しました。その他にも、EAP コースには、授業が終わった後も自由参加ができる Writing ワークショップや Speaking ワークショップなど、英語をまんべんなく学べるプログラムが用意されています。また、アルバータ大学が独自に企画している、ジャスパーやバンフといったカナダで有名な観光スポットを巡る旅行に参加することもできました。その旅行で私はたくさんの友達を作ることができ、現在でも交流が続いている友人もいます。アルバータ大学は様々な国々の学生が学びに来ているため、英語力だけではなく国際的な知見を深めることができると考えております。様々な文化や考えの垣根を越え、互いに尊重し合う素晴らしい景色がそこにはありました。

カナダの大学の新学期は、基本的に9月から始まります。ですから、その時期にクラブ活動や、様々な楽しいイベントが開催されるなど、春や夏と比べてキャンパスは大いに賑わいます。アルバータ大学では大いにキャンパスライフを楽しもうと、複数のサークルに参加しました。中でも、アニメクラブと韓国語会話クラブではたくさんの友人と思い出を作ることができました。同じ趣味を持つ者同士で過ごす時間はかけがえのないものです。そのおかげで私の英語力も劇的に伸びたといっても過言ではありません。



正規科目は、「言語学入門」の授業を受講しました。言語学を端的に説明すると、言語を分析し、理解を深めようとする学問で、我々が

普段話している母語でさえも気づかないことに気づかせてくれる学問であると私は考えております。もちろん授業は英語で行われ、リスニング能力が乏しい私は学期の前半はついていくのがやっとでした。それでも、授業後に教授に質問をしに行ったりと、なんとか頑張りました。学期の後半では、耳も慣れてきて、教授が話していることや学生が言っていることはほぼ理解することができ、授業でも手を上げて発言するなど、毎週3回の授業が楽しみになりました

留学で学んだことは英語だけではありません。上記のようにグローバルな思考を会得できたことはもちろんのこと、日本とカナダを比べることで、お互いの良いところ、悪いところを知ることができました。良いところは真似て、よくないところは切り捨てる。新たな日本を創り上げていかなければならない我々若者には、そのような知見は欠かせないものであると考えております。



ハワイ大学 (UH) 2022. 8-2022. 9

Kodai Okazaki
岡崎 耕大

初めての海外で実感した成長と自信

2022年8月28日～9月18日の約3週間、私たちは「NICE」という日本人向け語学プログラムに参加しました。まず、具体的な研修内容として、このNICEプログラムでは、初日に参加者全員が一对一の面接を英語で行うクラス分けテストがあり、その出来を基に5クラスの内のどこかに割り当てられます。自分の英語力とほぼ同じレベルの学生が集まるため、クラスの仲間と協力して英語を学ぶことができました。このNICEプログラムは「英語でのオールラウンドコミュニケーションスキルの向上」が大きな軸となっており、授業中はすべて英語でのコミュニケーションが求められました。休憩中も教室内では英語でのコミュニケーションが求められ、日本語を話すとは減点の対象になる場合があるので、スピーキング能力を養うにはとても良い環境でした。授業内容は、

日常で役に立つ表現や英語の発音はもちろん、アメリカ合衆国の歴史、ハワイ州の歴史、アメリカの文化、ハワイの文化、ハワイの食、映画や音楽など多くのことを学ぶことができました。また、毎週月曜日には教室を出て、英語を学ぶアクティビティが用意されていました。私のクラスは水族館や美術館に行き、展示物の解説を基にワークシートの問題を解いていくという内容でした。さらに、週に2回、現地の学生と英語で話す Interchange という時間がありました。この時間が個人的に一番スピーキング力を高める良い機会となりました。

今回の研修で成長したことは大きく二つあります。一つ目は、英語のスピーキング能力が向上したことです。明海大学では、3年生になると、2年生まで必修科目であった Integrated English がなくなり、英語を話す機会が今までよりも少なくなります。私は、今回の NICE プログラムに参加することによって、英語圏で英語を話し、理解しながら学習することができました。日本でも英語を話すことはできますが、どうしても日本語に頼ってしまうことが多く、「日本にいる以上、日本語が使える状況に甘えてしまう」ことが、英語学習する上での大きな障壁でした。しかし、研修中は授業、休憩中、授業外での生活、ショッピングなど英語を使う機会が日本にいる時と比較にならないくらい多いので、日常生活からも英語のスピーキング能力やリスニング能力を養うことが



できました。二つ目は、英語圏の人々と堂々と会話をする自信が持てたことです。今回の研修が私にとって初めての海外で、研修参加前までは英語圏の人と英語で会話することに正直緊張していました。しかし、現地では食事を買うたびに店員さんと英語でのやり取りがあり、回数を重ねるごとに堂々と話すことができるようになりました。以上の二つがこの研修で特に成長した部分であり、このような経験ができて本当に良かったと実感しています。今回の研修は英語力の向上だけでなく、異文化を知るといった観点からも強くお勧めします！

ハワイでの成長と気付き

私は4年生の夏休みに3週間、奨学海外研修としてハワイ大学のNICE Programと呼ばれる語学プログラムに参加させていただきました。

授業はレベル別で行われ、私のクラスではハワイの文化や歴史、発音や環境問題等を学びました。15人程の少人数のクラスで、ディスカッションの時間が毎時間あることに加え、ハワイ大学の学生へのインタビューなどの授業もあり、積極性を養いながら英語を学ぶことができました。授業は午後4時間で、毎週月曜日にはクラス別で校外学習が開催され、私たちのクラスではアラモアナショッピングセンターやホノルル動物園などに行きました。休日は授業がなかったため、バスに乗って様々な所へ行きました。最初は現地の人と上手くコミュニケーションが取れませんでした。数日後には徐々に環境に慣れてきて、積極的に周りの人に話しかけて場所を聞いたり、お店での商品の注文がスムーズに行えたりするようになりました。

私がこの研修で特に印象に残っている授業は、Interchangeという授業です。Interchangeでは、ハワイ大学の学生と少人数で1時間ディスカッションをすることができます。現地の学生が日常生活で使う英語を吸収し、それを実践することで会話表現の幅を広げることができ、回数を重ねるたびに深い会話ができるようになりました。さらに、今回の研修で私の研究課題である環境問題について、この機会に現地の学生にインタビューを行いました。彼らの社会や環境に対する強い意志を感じ、自分が持っていない新たな考え方や多くの知識を得られる大変良い機会となりました。

今回の研修を通して私は、多くの学びを得ることができました。初めて海外で生活を送り、異文化に触れ、英語を日常的に使いながら現地ですら経験できない沢山の貴重な経験をさせていただきました。これらの経験は英語の能力を向上させることだけでなく、自分自身を成長させることができましたと思います。さらに、ハワイの人々が社会問題に対する関心と強い危機感を持って



いることに感銘を受けました。環境問題についてのインタビューをした際には、回答した全ての学生が社会問題に対して独自の見解を持っており、深い議論に発展する場面が多々ありました。それだけ社会や環境への関心が高く、その対策に既に多くの人が取り組んでいることに気が付きました。

この研修で得た経験を活かし、身につけた教養をさらに発展させ知見を広げられるよう視野を広く持ち、様々な分野に興味関心を持って生活を送っていきたいと思います。そして、社会に出た際はこの研修で養った積極性や語学力を活かし、様々な方をサポートしていきたいと思います。3週間という限られた期間ではありましたが、周りの友人や先生などに助けていただきながら、日本では経験できないような貴重で忘れられない時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

ハワイ大学 (UH) 2022.8-2022.9

Mahiro Mizuide

水出 真尋

英語でハワイの文化に触れる

私は8月から9月にかけて、ハワイ大学マノア校での3週間の語学研修プログラム(NICE Program)に参加しました。このプログラムでは、十数名からなるクラス単位で、教室内やキャンパス周辺で(時にはキャンパス外で)学修に取り組みました。授業は主に3つの内容で構成されていました。1つ目は English Class です。このクラスでは、教室内でディスカッションやワークシートを用いて、特に英語のスピーキング力を養いました。ハワイ及びアメリカの歴史を学び、歴史的に重要な出来事の意義や、



それが現代の社会にどのような影響を及ぼしているのかなどを考え、意見を出し合いました。その他にもハワイの気候や食文化、環境問題などのトピックを扱い、日本との違いをディスカッションしました。2つ目は Interchange Class です。この時間では毎回、現地の同年代の学部生と交流することができました。

与えられたテーマについて話し合うほか、雑談なども楽しむことができました。このクラスで出会ったハワイ現地の学生とは、授業時間外に会ったり、日本に帰国した現在でも連絡を取り合ったりなど親交を深めています。3 つ目は、週に 1 度の Off-Campus Activity です。キャンパス外で行われたこのクラスでは、ハワイの歴史や文化に触れることのできる博物館やワイキキの水族館を訪れる機会がありました。そこでは展示をみて楽しむほか、質問が書かれたワークシートに取り組むなど、フィールドワークの中で英語を使用して学ぶことができました。

本研修では、マノア校での英語授業だけでなく、3 週間でオアフ島のさまざまな場所に足を運ぶことができました。日常生活の中で発生する現地の方々との交流では、コミュニケーションが取れる喜びや人々のやさしさに触れ、多くのことを学びました。約 3 週間と短いように思えますが、文字通り充実した毎日を送ることができました。ハワイの文化に溶け込み、その地域の言語で生活をする本当の楽しさを学べる素晴らしい経験となりました。



留学を通して成長する：

私は 2019 年の夏にイギリスのカンタベリーというところに約 3 週間の海外研修に行きました。私は以前から海外へ留学したいと考えていて、自分の英語がどれほど海外で通用するのか知りたいと思い、今回の海外研修に参加しました。

授業では日常的に使うフレーズや単語を学び、英単語をジェスチャーでほかの人に伝えるなどといったゲーム方式の授業が多くありました。また、会話する際によく使われる極限形容詞について学びました。その中ですでに知っていたフレーズや単語はありました。しかし、それ以上に知らない単語やフレーズのほうが多く、授業を通して表現の仕方や、会話の幅が広がったと感じました。そのほかに、カンタベリーについて調べたり、町の人にインタビューをしたり、ビールの原料となるホップについて学び、収穫をしたりと、カンタベリーならではの授業もありました。また先生方はとてもフレンドリーで話しやすく、面白いお話をしてくださったり、おすすめの観光地を教えてくださいと、とても親切で優しくかったです。

放課後や休日に外出をして現地の方と交流をしたとき、誰かが学校や街で困っている



と必ず声をかけて助けてくれる優しい人がたくさんいるという印象を持ちました。たとえばオススメのお店をお尋ねしたときには、お店の名前を教えてくださいただけではなく、お店へのアクセス方法を教えていただいたり、オススメの料理やその写真を



見せていただいたりと、求めていた行動だけではなく、ほかにも役立つ情報をいただけたりと丁寧に助けてくださった方が多かったです。私もこのように優しく手を差し伸べられるような人になりたいと思いました。

この研修を通して感じたことは、とりあえずなんでもよいので言葉にして伝えることが大事だと思いました。伝える努力をすれば相手も私たちが伝えたいことを理解しようとしてくれるので、話すことを恐れずに伝えるという経験を積み重ねていき、そこから少しずつでもいいので慣れていき、学んでいくことが大事だと思いました。また外国に行くとき必ず日本のことについてさまざまなことを聞かれるため、自分の国の政治や歴史、文化そして流行について幅広い知識を身につけなくてはいけないと思いました。そのためには普段からニュースを注意深く聞き、本をたくさん読もうと思いました。また、自分の国だけではなく、海外のニュースや流行なども知っておくと会話の幅が広がると思うので、今後はその辺りを気にして生活をしたいです。

英国 (Canterbury Christ Church 大学) 2019.8-2019.9

Miyu Muto
武藤 美優

憧れのイギリス：

私は8月17日～9月8日の3週間、イギリスへ海外研修に行きました。以前からオシャレで豪華なイギリスの建造物や街並みや文化に興味を持ち、実際に目にするとますます惹かれていきました。日本とイギリスは建造物に使われている材料や様式など一目見ただけで作りが全く違うことがわかります。日本は伝統的に木造建築が主流とされていますが、イギリスをはじめとする西欧諸国などの外国建築はレンガ造りや石造りが主流です。



どの建造物も豪華、かつ立派でもあり、私が憧れていたそのものですが、そのなかでも最も印象に残った建造物は「リーズ城」です。自然豊かな広い庭を抜けると湖に囲まれたお城が見えます。東京ドーム 43 個分もある広い敷地はイギリス南東部ケント州に位置し、「世界で最も美しい城」と言われています。このお城は 12 世紀に



ノルマン人が建て、イギリスの王族や貴族が代々 住んで最後にアメリカの大富豪女性が住み、リーズ城保存団体に譲渡されました。150 年もの間 6 人もの女性に所有されたようです。城の中も見学でき、豪華で広いたくさんの部屋や小さな教会や書籍部屋やワイン倉庫などがありました。様々な種類の木々や花もとても美しくて印象的でした。お城や庭の他にもアスレチックなど楽しめるスポットがいくつもあり多くの人にぎわっていました。

また、有名な世界遺産のピック・ベンやロンドン塔、ストーンヘンジ、カンタベリー大聖堂やコッツウォルズにも行きました。どの場所も映画の世界のような美しい建物や遺産が連なり、本当に綺麗で感動しました。

カンタベリークライストチャーチ大学での授業では、最初にテストを受け、その結果によってクラス分けがあり、少人数クラスで行いました。クラスの先生は授業でも授業以外でもたくさん話しかけてくださいます。授業では一人一人が積極的に発言でき、



授業以外では日常会話を話して、とても明るい雰囲気があったので、最初の緊張もすぐになくなり楽しい学校生活を送ることができました。授業内容は、主に教科書の英文や単語、ジェスチャーゲームや、イギリス文化や有名な観光地、イギリスと日本文化の比較について学習

しました。特にイギリス文化についての授業が印象に残っています。イギリスで有名なお酒を楽しむ場として有名なパブは社交場の一つであり、また礼儀作法や交流を深めるお茶を楽しむアフタヌーンティーがあります。街を歩いていると、その様子が多く見られたので、イギリスの人々が伝統を大切にしていることがわかりました。また、イギリスの博物館や美術館では、世界各国から集められた歴史的に価値の高い展示物もほとんどが無料で見ることができます。これは誰もが見るようにしたことや伝統が刻まれているらしく、イギリスの人たちが文化を大切に、伝統を守ろうとする気持ちを感じました。最後の授業では、先生がたくさんある選択肢の中から自分のやりたいことを早く見つけて、それに向けて努力することが大切だと教えてくださり、とても心に残りました。

イギリス留学では学生寮で生活していました。一人一部屋で広くておしゃれで快適な部屋でした。朝は友達と自炊して、お昼は大学の学食でご飯を食べたり、夜はまた友達と自炊したり、町で外食をすることが多くありました。町で過ごす学校よりも日常会話をする機会が多く、現地の人々も気軽に話しかけてくださったので、日常会話の話し方を学んだり、現地の方の過ごし方も知れたりしました。現地の方に話しかけられましたが、一緒に話せたときは嬉しかったです。

この海外研修で、イギリス文化や生活習慣などイギリスのことはもちろん、英語は世界共通語だから会話できる人の幅も広がるし、違う国の人と交流することによって、文化や知識など自分の知らなかったことを新たに知ることができることを実感しました。また、英語で会話をもっとしたいという気持ちや、英語の学習に対する意識も高まり、英語力をもっとつけなければならないと感じています。この留学で新たに学んだことや感じたことを今後の生活に生かして、有意義な生活を過ごしていきたいと思います。



☆現地報告

「長い春休みの間に、英語力を向上させるために、私ができることはなんだろう。」そう考えたことがきっかけで海外研修に応募し、今シドニーで楽しみながら生活をしています。研修前は、MPPECに通い友達と英会話をしたり、現地で観光に行ける場所の歴史を調べたりしていました。今まで旅行や、研修で何度か海外に行ったことがあったので、緊張することはなくむしろとても楽しみにしていました。この報告書を書いているときはオーストラリア生活12日目で、現地では毎日多くのことを学びながら、とても有意義な時間を過ごしています。

ホストファミリーはとても優しい方で、必ず私たちとの会話の時間を作ってくれます。最初は、色々なことを質問してホストファミリーがそれに答え、話を広げてくださったので、聞き手にまわっているような感じでした。しかし、聞くだけじゃだめだと思い、積極的に自分の思いや考えを伝えるように努力しました。ちゃんと最後まで話を聞いてくださり、理解しようとしてくれるので、自分が伝えたいことをうまく伝えられなかったとき、単語が出てこなかったときに悔しさが込み上げてきて、もっと伝え方や単語を覚えようという意欲が湧きます。また、CQUでは多くのネイティブの先生と話す機会があります。授業は、主にオーストラリアの歴史と文化に関わることや、その他英語力向上のために欠かせないことを学びます。授業のスタイルは、カジュアルでBGMを流しながら授業をするときもあれば、休憩時間に先生がお菓子を持ってきてくださり、



一緒に食べることもあります。このように、気を張らずに楽しみながら授業に参加できます。授業後や週末は、授業担当の先生以外の方と観光地に出かけることができます。初めて行く場所に、「感動」・「驚き」など様々な感情に染まります。かつ、ネイティブの先生方と話せる良い機会でもあるので、私は積極的に話しかけることを心掛けました。ネイティブスピーカーと話していると、普段は聞くことができないような個人の口癖や言いまわしなどを知ることができます。それを「現地で知ることができた」で終わりではなく、学んだことを自分の中に取り入れてアウトプットをしていくことで、英語力が向上すると思っています。

オーストラリア生活あと約2週間、楽しむことを一番に考え1日1日を大事に過ごし、日々成長できるように向上心をもって行動しようと考えています。それに加えて、日々新しいことに触れることができるのは、留学に行くことを許してくれた両親、ホストファミリーとして受け入れてくれたホストファザー、ホストマザー、CQUの先生方、海外研修が成功するように支えてくださっている大学の先生方のおかげです。たくさんの人に支えられて、今海外で過ごせているということを忘れずに周囲の方々に日々感謝しながら、生活していきたいと思えます。

オーストラリア (CQU) 2020. 2-2020. 3

☆現地報告

Kensuke Sakuma

佐久間 健祐

2月16日からオーストラリアでの1ヶ月間に渡るホームステイでの生活及びCQU研修が始まりました。研修開始前から楽しみで仕方ないという気持ちがとても強く、ワクワクしていたのを今でも鮮明に覚えています。しかし今でも時々不安になるのは、誤解を招く表現を使ってしまうことです。研修期間の半分を終えた今でも時々自分の英語力に疑問を持つことが



あります。しかし、それでも大学の先生やホームステイ先でお世話になっているファミリーは私の言おうとしていることをしっかり理解してくれ、意味が伝わらなかったときはしっかり聞き返してくれているので大変助かっています。ホームステイ先にはベトナム、韓国から滞在している学生もいて、空き時間ができたときには何気ない会話をし、とても楽しく生活できています。

私が今回の留学を志願した理由は、英語力向上を目的とするのはもちろんのこと、多国籍国家となったオーストラリアに赴くことで、異文化共生の姿勢を身につけるためです。かつてカナダを訪れたことはありましたが、期間が1週間ととても短く、英語力が伸びたとは到底言い難く、また英語力向上以外に目的を持っていませんでした。大学で英語を専門的に勉強していること、将来英語を使った職に就くことを目指していること、そして世界に目を向けてみようという思いから今回の海外研修への参加を決めました。また異文化共生の力を身につけたいと思った理由は、今日ひろく公にも報道されている差別問題やLGBTQIAについて、自分自身でどうすればいいのかを考えるきっかけにしたいと感じたためです。民族性、男女の性別を超えて相互理解し合うために必要なことは何か、この留学でヒントを見つけたいと思います。



12. おわりに Endnotes

留学ガイドブック、**Study Abroad Guidebook 2023** はいかがでしたか。

2022 年度は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大が収束に向かい、入国制限が少しずつ緩和され、海外渡航の安心安全が担保されたため、3 年ぶりに海外留学と海外研修のプログラムを実施することができました。2023 年度は、留学プログラムの全面的な再開が見込まれるものと思われます。その日に備えて、英語力をブラッシュアップしておきましょう。

この冊子を読んでたくさんの方が留学に興味を持ち、留学プログラム参加に向けて準備を始めてくれることを願っています。大学4年間は長いようで短く、あっという間に過ぎていきます。大学生活を有意義なものにするため、自分の視野を広げるため、そして国際人になるために、ぜひ海外留学にチャレンジして下さい！



***** Notes *****



CANADA



ENGLAND



AUSTRALIA



STUDY ABROAD GUIDEBOOK

**International Exchange Committee
Department of English
Meikai University**